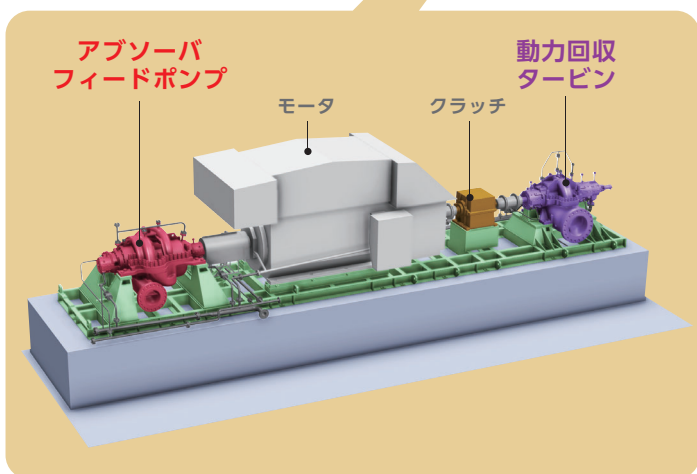
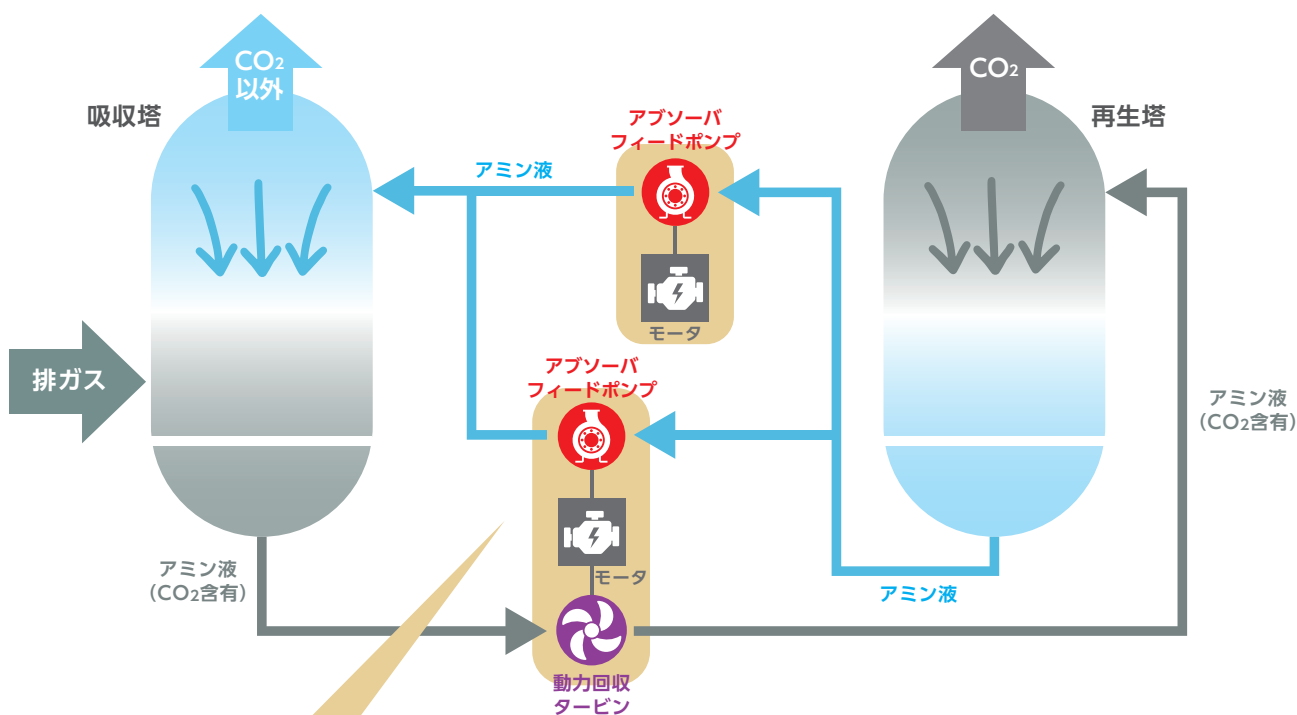


CO₂分離回収設備用ポンプ

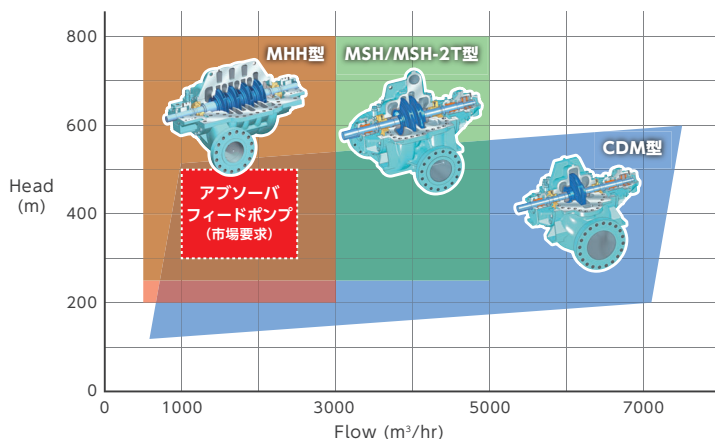
カーボンニュートラル社会の実現には、二酸化炭素 (CO₂) を分離回収して貯蔵する技術 (CCS) や有効利用する技術 (CCU) の推進が不可欠です。

CO₂の分離回収方法はいくつか開発されていますが、トリシマは今後大容量化に適した方法として世界中で採用が見込まれている「化学吸収法」の設備で使用される「アブソーバフィードポンプ」に着目し、海水淡水化プラント用の大容量高圧ポンプで培った技術を応用したポンプを現在開発しています。

化学吸収法によるCO₂分離回収プロセス



アブソーバフィードポンプ市場の要求スペックに対応



「三菱重工から本ポンプに関する技術支援を受ける契約を締結」

三菱重工は、世界中で化学吸収法のプロセスにポンプを長年供給してきており、豊富な実績や技術知見を有しています。このたび、同社の本ポンプにおける技術をトリシマの大容量高圧ポンプの技術と融合させ、今後大容量化するCO₂分離回収市場に高効率のポンプを開発・供給していくことを目的に、同社が持つポンプなどの設計や製造ノウハウの技術支援を受ける契約を締結しました。